

2017年8月22日

報道関係各位

慶應義塾大学 SFC 研究所

慶應義塾大学と花王株式会社の共同研究成果『日々の世界のつくりかた』の テーマソング「日々の世界」が配信開始

慶應義塾大学総合政策学部 井庭崇研究室と花王株式会社 生活者研究センターが制作した『日々の世界のつくりかた：自分らしく子育てしながら働くためのヒント』をもとにした歌がつけられ、配信が始まりました。この歌は、仕事や勉強、子育てなど、毎日がんばっている人への応援ソングです。通勤や通学、あるいは家事をしているときなどに聴くことで、ポジティブで前向きな力が持てるようにつくられています。学術的にみても、パターン・ランゲージ（日々の世界のつくりかた）の言葉・内容が歌詞に埋め込まれている、世界で初めての本格的なパターン・ソング（Pattern Song）です。楽曲は、iTunes, Spotify, Amazon Music, mora, LINE Music など多数のプラットフォームで音楽配信しています。研究成果をもとに生まれた新しいタイプの歌について、ご注目いただきますとともに、ぜひご取材ください。



「日々の世界」

仕事、勉強、子育てなど、毎日がんばっているあなたへの応援ソング。視点が変わりポジティブな気持ちになれる一曲です。

作詞：真友ジーン. & 井庭 崇

作曲：真友ジーン.

歌：真友ジーン.

編曲・演奏：真友ジーン. & The Band aids

ジャケット・デザイン：雀部 亜莉子, 小暮 桜子, 井庭崇

真友ジーン. & 井庭 崇



生活・人生をポジティブによりよくする研究（パターン・ランゲージ）の成果をもとに、歌をつくり届けるユニット。慶應義塾大学環境情報学部在学中のシンガーソングライターの真友ジーン.

（まゆじーん）が作詞・作曲・ボーカルを担当し、慶應義塾大学総合政策学部准教授の井庭 崇（いば たかし）が企画・作詞およびプロデュースをしています。

歌詞

「日々の世界」

作詞：真友ジーン. & 井庭 崇

[1]

あのこはどんどん変わっていくのに
わたしはどうかしら？ はあ
仕事も家事も君とのことも
大切なんだけど 時間が足んない

急ぐ帰り道 赤い信号
いつまで待つのかな もう
ため息飲んで 見上げた空の先
早く行かなくちゃ

おかえり ただいま
に涙が溢れた
おつかれ ありがとう
特別な日じゃなくても

世界をつくろう
わたしたちなりの
日々の世界をつくって
らしくやっぺいこうよ wow
悩めるのも
わたしたちだからこそそのチャンス
それでも悲しい夜は君に
愛を伝えよう

[2]

わたしはいつも抱えてしまうけど
みんなどうしてるの？ ねえ
打ち明けてみた 弱音が重なった
まだ 行ける気がした

やわらかい風吹き
感じたよろこび
いまここにいる意味
そうよ ひとりじゃないから

世界をつくろう
わたしたちなりの
日々の世界をつくって
らしくやっぺいこうよ wow
試してくのも
新しいわたしたちのスタンス
今夜帰ったら 眠る君に
愛をささやこう

おかえり ただいま
あたりまえの中に
おつかれ ありがとう
いつか思い出になるような

世界をつくろう
わたしたちなりの
日々の世界をつくって
らしくやっぺいこうよ wow
悩めるのも
わたしたちだからこそそのチャンス
これほど愛おしい夜は君に
愛を伝えよう

こんなに優しい朝は君に
愛を伝えよう

□ パターン・ランゲージ『日々の世界のつくりかた』について

子育てををするということ、働くということ、自分らしくいるということ、これらを同時に満たすのは簡単なことではありません。ときには、無理なのではないかとさえ思えてきます。しかし、ちょっとした工夫があると、それらが絶妙に組み合わせられ、重なり合い、よい方向に向けてまわりだすこともあります。その秘訣をまとめたのが、冊子『日々の世界のつくりかた』です。この冊子では、育児と仕事を両立している方々からお話を伺い、そこで語られたコツを集約し言語化し、34個の「ことば」にまとめました。それぞれのことばには、子育てしながら働くという状況のなかで起こりやすい問題と、それを乗り越えていくための考え方や行動について記載しています。

『日々の世界のつくりかた』は、慶應義塾大学総合政策学部 井庭崇研究室と花王株式会社 生活者研究センター JJP(ジョシジョブプロジェクト)による共同研究によって制作されました。井庭崇准教授とその研究室の大学生、および花王株式会社 生活者研究センター(センター長 宮川聖子)の研究員で構成され、2016年4月に始動しました。本成果は、子育てと仕事の両立に日々取り組んでいる方々への調査・インタビューをもとに、実践知を共有するための専門的な方法論(パターン・ランゲージ ※後述)を用い、さらには、これから社会に出る女子大学生たち(未来の実践世代)のもつ「明るくポジティブな未来」のニュアンスを大切にしながら作成されました。

『日々の世界のつくりかた』の冊子は、くらしの研究 生活者研究センターのホームページ(<http://www.kao.co.jp/lifei/>)よりダウンロードできます。

【自分たちでつくる】	【ひとりではない】	【子どもと自分の成長】
0. 日々の世界	10. 共感できる仲間	22. 外の世界のおはなし
	11. 小さなお願い	23. 成長の機会
	12. 日ごろの家族ばなし	24. 小さな冒険
【それぞれのかたち】	13. 家族ミーティング	25. 子育てによる成長
1. 自分なりのバランス	14. 安心のチーム	26. ひとつの実験
2. 両立のメリット	15. 子育てのつながり	27. チャンスの判断
3. 自分たちのスタイル		
	【ターニング・ポイント】	【いたわりの気持ち】
【うまくまわす】	16. 働くよろこび	28. がんばりへのご褒美
4. なるべくシンプル	17. 自分をあらかわす仕事	29. 自分であるための時間
5. 一日のパッキング	18. 働き方のプロデュース	30. 愛を伝える
6. キリのよいところ	19. 次につながる強み	
7. 子どもと一緒に	20. 心の声に従う	【未来へ】
8. 先回りの準備	21. 新しい自分	31. 未来スケッチ
9. ポジティブな割り切り		32. 夢への助走
		33. おもいで時間

□ パターン・ソング「日々の世界」について

歌「日々の世界」は、仕事や勉強、子育てなど、毎日がんばっている人への応援ソングです。「私たちは毎日、自分たちが生きる『世界』をつくっている」という視点をもって、悩みが解消されるような歌になっています。

もともなった『日々の世界のつくりかた：自分らしく子育てしながら働くためのヒント』は、子育てと仕事を両立している方向けの内容でしたが、今回制作した歌「日々の世界」は、子育てに限定せず、それぞれの領域で毎日がんばっている人たちに向けての内容になっています。

作曲は慶應義塾大学環境情報学部在学中のシンガーソングライター 真友ジーン. が行い、作詞は真友ジーン. と慶應義塾大学総合政策学部准教授の井庭 崇のコラボレーションによって行われました。なお、今回のジャケット・デザインは、昨年環境情報学部在学していた雀部 亜莉子と小暮 桜子、井庭 崇によるデザインです。

パターン・ランゲージはこれまで、本、論文、カードなど文字のメディアで表現されてきましたが、歌「日々の世界」では、歌詞のなかにパターン・ランゲージの言葉や内容が込められており、それを歌声に乗せて聴くことができるようになっていきます。音楽のもつ力と、パターン・ランゲージの伝える視点・メッセージが融合した新しいタイプの表現として、多くの方がいきいきと暮らしていくことの支援になればと考えています。

「日々の世界」は、下記のオンラインストアおよびストリーミングサービスで配信しています。

- ・ iTunes Store / Apple Music (<https://itunes.apple.com/jp/album/id1271022854>)
- ・ Spotify (<https://open.spotify.com/album/2RmeBsS7tqKLuLbr9L69QQ>)
- ・ Amazon Music / Prime Music (<https://www.amazon.co.jp/dp/B074RDKV7F/>)
- ・ music.jp (<http://music-book.jp/music/Artist/1045423/Music/aaa86qtd>)
- ・ mora (<http://mora.jp/package/43000074/TCJPR0000381799/>)
- ・ レコチョク (<http://recochoku.jp/song/S1005548358/>)
- ・ LINE MUSIC (<https://music.line.me/album/mb0000000001497dc9>)
- ・ Google Play Music
(<https://play.google.com/store/music/album?id=Bdnmej7yu32fy6ovofx3plr4e6q>)
- ・ d ミュージック (<https://music.dmkt-sp.jp/song/S1005548358/>)
- ・ kkbox (<https://kkbox.fm/tl17q8>)

また、ORICON, AWA, うたパス, SMART USEN, OTOTOY, Rakuten Music, mysound ほかでも配信されます。

歌詞に埋め込まれているパターン

No.0 日々の世界(N) 『日々の世界』

詞:真友ジーン × 井庭崇
曲:真友ジーン

No.2 両立のメリット(P) あのはどんどん変わっていくのに
わたしはどうかしら? はあ
No.1 自分なりのバランス(P) 仕事も家事も君とのことも
No.5 一日のパッキング(P) 大切なんだけど 時間が足りない
No.9 ポジティブな割り切り(P)

わたしはいつも抱えてしまうけど No.10 共感できる仲間(P)
みんなどうしてるの? ねえ No.10 共感できる仲間(S)
打ち明けてみた 弱音が重なった
まだ行ける気がした

No.5 一日のパッキング(P) 急ぐ帰り道 赤い信号
いつまで待つのかな もう
ため息飲んで 見上げた空の先
早く行かなくちゃ

やわらかい風吹き
感じたよこび
いまここにいる意味
そうよ ひとりじゃないから 【ひとりではない】(No.10-15)

No.24 小さな冒険(P) おかえり だいま
に涙が溢れた
【いたわりの気持ち】(No.28-30) おつかれ ありがとう
No.33 おもいで時間(S) 特別な日じゃなくても

世界をつくろう 【自分たちでつくる】(No.0)
わたしたちなりの No.0 日々の世界(S)
日々の世界をつくって 【それぞれのかたち】(No.1-3)
らしくやっぺいこうよ wow No.1 自分なりのバランス(S)
No.3 自分たちのスタイル(S)
No.0 日々の世界(N)
No.0 日々の世界(S)

【自分たちでつくる】(No.0) 世界をつくろう
No.0 日々の世界(S) わたしたちなりの
【それぞれのかたち】(No.1-3) 日々の世界をつくって
No.1 自分なりのバランス(S) らしくやっぺいこうよ wow
No.3 自分たちのスタイル(S) 悩めるのも
No.0 日々の世界(N) わたしたちだからこそそのチャンス
No.0 日々の世界(S) No.2 両立のメリット(S)
No.2 両立のメリット(S) No.25 子育てによる成長(S)
No.25 子育てによる成長(S) それでも悲しい夜は君に
No.28 がんばりへの褒美(P) 愛を伝えよう
No.30 愛を伝える(N) 愛を伝えよう

試してくのも No.26 ひとつの実験(S)
新しいわたしたちのスタンス 【それぞれのかたち】(No.1-3)
今夜帰ったら 眠る君に No.3 自分たちのスタイル(S)
愛をささやこう No.30 愛を伝える(S)

おかえり だいま No.33 おもいで時間(S)
あたりまえの中に 【いたわりの気持ち】(No.28-30)
おつかれ ありがとう No.33 おもいで時間(N)
いつか思い出になるような 【未来へ】(No.31-33)

世界をつくろう 【自分たちでつくる】(No.0)
わたしたちなりの No.0 日々の世界(S)
日々の世界をつくって 【それぞれのかたち】(No.1-3)
らしくやっぺいこうよ wow No.1 自分なりのバランス(S)
No.3 自分たちのスタイル(S)
No.0 日々の世界(N)
No.0 日々の世界(S)
悩めるのも No.2 両立のメリット(S)
わたしたちだからこそそのチャンス No.25 子育てによる成長(S)
これほど愛おしい夜は君に No.30 愛を伝える(S)
愛を伝えよう No.30 愛を伝える(N)

こんなに優しい朝は君に
愛を伝えよう No.30 愛を伝える(N)

□補足：パターン・ランゲージとは

パターン・ランゲージは、建築家クリストファー・アレグザンダーが提唱した知識記述の方法です。アレグザンダーは、町や建物に繰り返し現れる関係性を「パターン」と呼び、それを「ランゲージ」（言語）として共有する方法を考案しました。彼が目指したのは、誰もがデザインのプロセスに参加できる方法でした。

つくる人と使う（住む）人を分断するのではなく、使う人がつくるプロセスに入り、その後も自分たちで改善していけるようにすることが、いきいきとした街や建物を生み出すために不可欠だと、アレグザンダーは考えたのです。ある「状況」で生じる「問題」をどのように「解決」すればよいのかという実践的な知を記述するパターン・ランゲージの方法は、ソフトウェア開発や創造活動一般を支援する方法として広がっています。

慶應義塾大学総合政策学部 井庭崇研究室は、パターン・ランゲージの方法を創造的な人間行為の支援に応用し、国内外で先導的な立場で研究・実践を進めています。これまでに制作した主なものとしては、「ラーニング・パターン」、「プレゼンテーション・パターン」、「コラボレーション・パターン」、自分らしい進路選択をするための「未来の自分をつくる場所」、認知症とともによりよく生きるための「旅のことば」、企画・プロデュース・新規事業を行うための「プロジェクト・デザイン・パターン」、主体的・対話的で深い学びを育むための「アクティブ・ラーニング・パターン《教師編》」などがあります。書籍として出版された『プレゼンテーション・パターン』は2013年度のグッドデザイン賞を受賞、書籍およびカードとして出版された『旅のことば』は、2015年度の認知症フレンドリーアワード大賞およびグッドデザイン賞を受賞しています。

*ご取材の際には、事前に下記までご一報くださいますようお願い申し上げます。

*本リリースは新聞各紙社会部、web ニュース等に送信させていただいております。

【このプレスリリースに関するお問い合わせ先】

慶應義塾大学 井庭崇研究室 「日々の世界」プロジェクト

E-mail: hibinosekai@sfc.keio.ac.jp

【配信元】

慶應義塾大学 湘南藤沢事務室学術研究支援担当

TEL: 0466-49-3436 FAX: 0466-49-3494

E-mail: kri-pr@sfc.keio.ac.jp